

広野町教育ビジョン

魅力ある広野町の教育の実現に向けて

<基本方針>

子どもたちの輝く笑顔が広野町の未来
～子どもたちがのびのびと育ち、笑顔が輝く広野町をめざして～

<広野町教育目標>

○夢や希望を抱き未来をたくましく生き抜く幅広い見識と創造性の育成（キャリア教育）

- ・確かな学力と自ら学ぶ意欲や態度を育みます（知）
- ・人への思いやりの心とふるさとへの愛着を育みます（徳）
- ・生涯にわたり健康で安全に生活する力を育みます（体）



【広野町中学生海外教育交流派遣事業 H.27.8.20～H.27.8.27】

広野町教育ビジョンに基づいた広野町の教育の魅力化

広野町では、現在、広野中学校が、広野中学校本校舎の施設を使用した「ふたば未来学園高等学校」開校により、広野小学校北校舎で教育活動を展開していること、広野小・中学校が「学力向上のための『つなぐ教育』推進事業」の研究校の指定を受け、「小・中連携」「家庭・地域社会との連携」の実践研究を行っていることから、その成果を柱に、将来的な幼・小・中一貫教育を視野に入れながら、広野町教育委員会の基本方針を定めるとともに、広野町教育ビジョンを策定し、「魅力ある広野町の教育」の創造に向けた、教育実践をすすめています。

広野町教育委員会



平成27年度の取組

確かな学力と自ら学ぶ意欲や態度を育みます（知）

◇幼・小・中連携（幼稚園・小学校・中学校）

<小・中連携>

小学校、中学校の教員が、互いの授業を参観し合い、小・中のスムーズな接続に向けた授業の在り方についての研究に取り組んでいます。さらに、2学期からは、広野町教育委員会の命課を受けた中学校の教員が小学生に対し授業を行ったり、小学校所属の栄養教諭が中学校で食育の授業を行ったりするなどの教科等の専門性を生かした指導により、児童生徒の学ぶことへの興味・関心を引き出しています。（教員派遣交流事業）



【小学校国語科の研究授業】



【小・中教員による研究協議】



【栄養教諭の中学校での食育指導】



【中学校教員の小学校での授業（音楽）】



【中学校教員の小学校での授業（算数）】



【中学校教員の小学校での授業（体育）】

<幼・小連携>

幼稚園、小学校においては、幼児期と児童期を接続し、発達段階に応じた系統的な教育を進めることを目的に、幼・小教員による小学校低学年の授業参観と協議会を実施し、子どもの個性や発達課題、指導経験について共有しています。また、幼児には、「小学校への憧れ」を芽生えさせ、児童には、「自尊感情」を育むことを目的に、幼稚園年長児と小学1年生の交流活動も進めています。（教員派遣交流事業）



【小学校低学年の授業参観】



【幼・小教員による協議会】



【幼児・児童の交流活動】

◇英語教育（幼稚園・小学校・中学校）

国際社会に対応できる人材を育成するため、幼稚園、小学校低中学年においても英語教育を実施しています。英語を身近なものとするため、JTE(日本人の英語活動指導員)、ALT(外国語指導助手)が、中学校だけでなく幼稚園、小学校でも英語教育の補助を行っています。
(英語教育の強化・ALTの活用)

さらに、中学校では、毎月1回程度、ふたば未来学園高等学校との英語の連携授業を実施しています。コミュニケーション能力の向上をめざし、これまでに学習した内容を活用した実践的なコミュニケーション活動を展開しています。
(ふたば未来学園との連携)



【幼稚園での英語あそび】



【小学校での外国語活動】



【中学校での英語の授業】

◇学力向上タイムの設定（小学校・中学校）

小学校では、毎週水曜日と金曜日の朝10分間、学力補充のためのドリル学習「ぐんぐんタイム」に取り組んでいます。また、火曜日と木曜日の朝の10分間に読書習慣の確立に向けた「読書タイム」を設定しています。中学校では、学力向上をめざし、朝15分間、放課後15分間の1日計30分間を学力の補充や発展的な学習の時間「広螢タイム」に充てています。月曜日～木曜日は、漢字・数学・英語検定試験に臨むための学習や、理科、社会の基礎基本の習得をめざす問題集を活用した学習を、金曜日には、読書活動に取り組んでいます。



(読書活動の励行・各種検定取得支援) 【広螢タイムでの学習の様子】

◇児童生徒への学習支援（小学校・中学校）

<中学校>

首都圏の大学生を講師として招聘し、毎月2日間、長期休業中は3日間、中学生の希望者を対象として、基礎学力向上から高校受験までを見据えた学習支援を行っています。学習活動の合間には、学生達により、中学生に対して、大学で取り組んでいる各々の研究や活動について分かりやすくプレゼンテーションする時間も設けられており、中学生の学習意欲の向上やキャリア発達にも大いに役立っています。
(町営学習塾事業)



【町営学習塾での中学生の学習】



【3Dプリンタについての講義】



【外国語学習の大切さの講義】

＜小学校＞

小学生に対しては、コーディネーター、活動指導員、安全管理員を配置し、4年生～6年生の希望者を対象に、授業終了からスクールバス乗車までの時間を利用して、毎週火・水・木曜日に学習活動や体験活動を支援しています。また、町内の人材やいわき市教育文化事業団による出前講座も実施しており、子ども達に幅広い学びを提供しています。

（放課後支援事業）



【書道教室】



【生け花教室】



【プラスチックキーホルダー製作】

◇広野町中学生海外教育交流派遣事業（中学校）

海外でのホームステイ、現地での学校訪問や同世代の人たちとの交流等、海外での様々な交流活動に参加することをおし、「国際的な視野と見識」を深めるとともに、積極的に物事に取り組みやり抜く「たくましく生き抜く力」を身につけることを目的に、中学生を対象とした海外研修を実施しています。平成27年度は、中学2・3年生20名が、8月20日～8月27日の8日間、カナダのブリティッシュコロンビア州バーノン市において、現地での語学研修やアクティビティ、生徒との交流、4日間のホームステイ等を体験しました。

（国際交流事業）



【出発式】



【語学研修】



【YOSAKOIソーラン披露】



【アクティビティ】



【ホストファミリーと対面】



【現地日系企業訪問】

◇職業人講話（中学校）

進路指導の一環として、生徒一人ひとりの職業観や勤労観を育てるとともに、地域の現状や社会的事象についての理解を深め、将来の進路に対する関心を高めることを目的に、地域の職業人や著名人による講話を実施しています。（キャリア教育の充実）



【町役場職員による講話】



【著名人による講演会】

◇映像教育（シネリテラシー）事業（中学校）

「ドキュメンタリー映像の作成をおし、表現力の向上を図ること」、「コミュニティでの町民との交流をおし、故郷の誇りを再発見すること」をねらいとして、日本映画大学の講師や学生のサポートを受け、地域の方々との交流の様子を映像作品としてまとめました。作品については、広蛸祭、ふるさと創造学サミット、「いいな広野～わが町発見～特別上映会」において公開し、好評を博しました。（ふるさと創造学の実践）



【校内リハーサル】



【仮設住宅での撮影】



【町内での撮影】



【映画大スタッフとの編集作業】



【映像作品上映会】



【映像作品上映会】

人への思いやりの心とふるさとへの愛着を育みます（徳）

◇人権教室・命の大切さを学ぶ授業・手話教室（小学校・中学校）

心豊かに夢や希望を抱き未来をたくましく生き抜く児童生徒を育てるためには、心に響く道徳教育の充実を図る必要があります。そこで、道徳の時間の充実をはじめ、道徳教育における地域の人材や外部講師の積極的活用をすすめています。人権擁護委員や福島県警、地域の方々による授業から、児童生徒は、「一人一人がお互いを認め合い、自他を大切にする心」、そして、「命の大切さ」を学びました。（道徳教育の充実）



【人権教室】



【命の大切さを学ぶ授業】



【手話教室】

◇法教育（小学校・中学校）

規範意識、公正な判断力、人権意識を育むことをねらいとして、小学6年生、中学1年生を対象に、長野県弁護士会の皆さんによる法教育を実施しました。児童生徒自身が裁判員をつとめる模擬裁判を経験することで、裁判員裁判制度についての理解を深めるとともに、安心して楽しい生活を送るためには、法やルールを守ることや物事を公正に理性的に解決する力を身につけていくことが大切であることを学びました。（道徳教育の充実）



【弁護士による模擬裁判】



【模擬裁判への参加】



【班での評決についての協議】

◇地域に根ざした体験活動（幼稚園・小学校・中学校）

幼児、児童生徒の地域の一員としての自覚を高め、郷土愛を育むことを目的に、地域の理解と協力のもと、豊かな体験活動の充実に努めています。（豊かな体験活動）



【園児のはなぶさ園訪問】



【小学6年生の広桜荘訪問】



【中学2年生の職場体験】

◇各種スポーツ教室（小学校）

7月の小学5・6年生対象の元プロ陸上選手の秋本真吾さんによる教室では、専門であるハードル走のデモンストレーションの後、陸上競技の基礎の指導を受けました。速く走るポイントについて実技を交えて学ぶことをとおして、走る楽しさを体感することができました。また、11月には、横浜FCの選手、コーチ、スタッフの皆さんにお越しいただき、小学1～4年生は、体育館で実際にボールを蹴ってサッカーの指導を、5・6年生は、夢について話し合う授業を受けました。子ども達は、競技の楽しさや、夢を大事にし、あきらめずに前に進んでいくことの大切さを学びました。（体育・運動能力の向上）



【秋山選手のハードル走の指導】



【サッカー教室】



【6年生での授業】

◇マラソン週間・持久走大会（小学校）

本町児童の課題である持久力、走力の向上を目指し、11月～12月にマラソン週間と持久走大会を位置づけました。全校児童は校内持久走大会にむけ各自の課題に応じた目標を設定し、毎日2校時と3校時の業間に、持久走に取り組みました。校内持久走大会では、保護者の皆さんの声援を受け全員が完走しました。（体育・運動能力の向上）



【校内持久走大会】

◇部活動（中学校）

現在、広野中学校では、バドミントン部、剣道部、ソフトテニス部が、新たな伝統を築くために、互いに切磋琢磨し合い、チームワークと技術力の向上に努めています。また、陸上大会、駅伝大会に向けて、特設部を組織し、練習に励んでいます。中体連総合大会では、剣道部が、中体連陸上大会では、特設陸上部が県大会出場を果たしました。新人戦では、剣道部が男女団体、男女個人ともに優勝、バドミントン部が男子団体3位、男子個人ダブルス2位の素晴らしい成績をおさめました。また、今年度より再開したソフトテニス部が東日本大震災後、はじめて新人戦への出場を果たしました。（部活動の充実）



【バドミントン部】



【剣道部】



【ソフトテニス部】

◇安田式体育指導研修会・講演会の実施（幼稚園）

子ども達が毎日いきいきと楽しく体を動かし、年齢や発達に応じ運動能力を向上させることができるよう、外部講師を招聘し、園内の遊具を用いた日常の保育の中で短時間かつ継続的に行うことができる体育指導法を学び、実践しています。また、教員、保護者対象の講演会を開催し、子どもの体と心の発達について共に考える場も設定しています。

（安田式体育あそびによる心身の発育・発達の促進）



【安田式体育指導研修会】



【安田式体育指導研修会】



【教員・保護者対象講演会】

◇薬物乱用防止教室（小学校・中学校）

小学校6年生、中学生を対象にした、相双保健福祉事務所による薬物乱用防止教室では、禁止薬物の健康に与える影響、違法売買の巧妙化、公共機関の危険ドラッグ拡大防止の取組等について学び、薬物乱用の恐ろしさについての認識を深めました。

（健康教育の充実）



【薬物乱用防止教室】

◇むし歯予防教室（小学校）

ほぼ永久歯に生えかわる小学校5・6年生を対象に、歯科衛生士、保健師によるむし歯予防教室を開きました。一生自分の歯で食べるためには、口腔内を清潔に保つことが重要であり、そのためには、ゆっくり噛んで唾液の分泌をよくすることが大切であること、さらに歯磨き時のブラッシングの仕方について学びました。

（健康教育の充実）



【むし歯予防教室】

◇普通救命講習（中学生）

応急手当における迅速かつ的確な行動のために必要な判断力や決断力および柔軟な対応力を養うことを目的に、富岡消防署榎葉分署員の指導のもと、中学2年生を対象に、普通救命講習会を実施しました。生徒達は、心肺蘇生や自動体外式徐細動器（AED）の使用法を学ぶことをとおし、基礎的な技能とともに「命の大切さ」「応急手当の重要性」についての理解を深めました。



【応急手当に関する講義】



【心肺蘇生法の実技訓練】

◇放射線教室（小学校・中学校）

児童生徒が、放射線等に関する基礎的な知識についての理解を深め、心身ともに健康で安全な生活を送ることができるために必要な「自ら考え・判断し・行動する力」を育成することを目的に、専門家を招聘し、放射線教室を実施しています。

今年度は、小学校では、いわき明星大学の石川哲夫先生、中学校では東京医科大学の吉村真奈先生による放射線教育を実施しました。（放射線教育の充実）



【霧箱での放射線の飛跡の観察】



【甲状腺検査についての講義】

◇小・中合同防災訓練・小・中合同防犯教室・小・中合同避難訓練（小学校・中学校）

「災害発生を想定し、安全に避難できる能力や態度を養い、落ち着いて秩序ある集団行動をとることの必要性を理解させ、実践できるようにする」、「日常生活や学校生活での防災の大切さを理解する」、「原子力発電所事故や公共交通機関等が遮断された状況下で、児童生徒を安全、確実に保護者に引き渡すことができるようにする」をねらいとして、小・中合同の避難訓練を実施しています。

今年度は、5月に、震度5強の地震が発生後、原子力発電所事故や公共交通機関等が遮断されたことを想定しての避難訓練と保護者への児童生徒の引き渡し訓練を実施しました。また、6月には、双葉警察署員の指導のもと校舎内への不審者侵入を想定した防犯教室を実施し、不審者対応やネットランチャーの使用法について学ぶとともに、校外で不審者に声をかけられた際の対応訓練も行いました。12月には富岡消防署榎葉分署員の指導のもと学校火災を想定した避難訓練を行うとともに、煙体験ハウスで火災における煙の怖さを体験しました。（防災教育の充実）



【引き渡し訓練】



【防犯教室】



【避難訓練での煙体験】

特別支援教育

◇特別支援教育（保育所・幼稚園・小学校・中学校）

学校・園、福祉、保健の指導者、担当者を対象に、教育現場及び保育現場で困り感を抱えている児童生徒の行動や心理について、その特性を正しく理解し、共通認識を深めるとともに、支援体制の充実に向けて指導・支援のスキルアップを目指すことをねらいとした研修を実施しています。今年度は、福島県立医科大学の2名の先生方による講義と事例検討会を実施しました。
(教職員の研修の充実)

◇ケース会議（小学校・中学校）

小学校、中学校ではそれぞれ、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応えることができるよう、定期的に、教職員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、保健師、関係機関職員等で構成するケース会議を定期的に行い、児童生徒の特性や支援の在り方等についての協議を深め、共通理解を図っています。

(支援体制の充実)



【県立医大から講師を招聘しての研修会】